

若手監督官（石川労働局採用）インタビュー

Q. 現在の業務内容

【法文系区分採用】平成31年4月 任官

金沢労働基準監督署で安全衛生業務を担当しています。労働災害の防止のため、主に会社の工場や建設現場などに行き、労働者の方が安全に作業ができているか、危険な箇所や機械がないかなどを法律に基づき確認します。また、クレーンなど一定の機械が新たに設置された際に会社に行き、問題なく設置されているかを確認する検査業務も行っています。

Q. 労働基準監督官のやりがいは何ですか？

法違反を指導した際に「ただ法律で決まっているから」ではなく、事業主の方に法律の趣旨や、なぜ改善が必要なのかを理解してもらい、改善いただけたときにやりがいを感じます。そのために、日々、知識を習得するほか、様々な事業場に行って現場の状況を目で見ることにより経験を積んでいます。



Q. 労働基準監督官の試験対策はどんなことをしましたか？

まずは筆記試験に合格しなければいけないため、問題集を繰り返し解きました。その後、面接練習を行い、自分の言葉で監督官として働きたいという思いを伝えられるようにしました。定着局での採用面接の際には、なぜ石川労働局で働きたいのかという動機も伝えられるようにしていました。実際の面接では、志望動機、学生時代に力を入れて取り組んだこと、労働関係の最近の話題について関心があること、緊張するような場面でどのように乗り越えるかといった質問がありました。